

## 衛生

管内の水道普及率は、平成27年度末現在で92.5%となっており、全道水準(98.3%)を下回っています。

また、管内の生活排水処理については、下水道の普及が進んでいないこともあり、平成27年度末日現在の汚水処理人口普及率が73.6%と、全道水準(95.0%)を大幅に下回っていますが、それを補完するように、合併処理浄化槽の普及率は9.9%と全道水準(3.0%)を上回っています。

今後も、生活排水処理施設の一層の整備促進が望まれます。



日高町日高浄化センター

■水道 (H28.3.31 現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	許可等施設数				現在給水人口(B)	普及率(B/A)(%)
		上水道	簡易水道	専用水道	計		
管内	69,106	4	15	7	26	63,927	92.5
全道	5,352,932	95	252	344	691	5,264,487	98.3

(環境生活部環境局環境政策課「北海道の水道」)

■汚水処理 (H28.3.31 現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	公共下水道	農業集落排水施設	漁業集落排水施設	個別処理(合併処理浄化槽)(C)	処理人口(B)	汚水処理人口普及率B/A(%)	合併処理浄化槽普及率C/A(%)
管内	69,400	41,903	2,191	91	6,801	51,046	73.6	9.9
全道	5,375,467	4,873,419	62,234	9,981	162,142	5,107,776	95.0	3.0

(建設部まちづくり局都市環境課「北海道の下水道」)

## 交通安全

平成29年の管内の交通事故発生状況は、発生件数、傷者数前年を下回りましたが、死者数は増加となりました。

昨年まで7年連続で最少件数を更新していた発生件数は75件と、前年比で6件の増加となりました。

死者数は5人と、前年を1人下回りましたが、依然として、高齢者の死亡事故が発生(2件2人)しています。

管内の交通事故発生状況を過去10年の推移でみると、発生件数及び傷者数は半分以上に減少し、死者数も8年連続して一桁で推移するなど、総じて漸減傾向が続いています。

しかし、加害者、被害者ともに高齢者による事故が発生していることから、今後は、高齢者に対する啓発をはじめ、各種交通安全対策の推進が重要です。

